

旅日記便り

ヘルパー付き個人旅行



第2号 2012.10.2発行

夫妻の故郷の地、函館2泊3日のご旅行へ同行致しました。

今回は、小笠原敏雄さん(86歳 要介護2)と鏡さん(84才 要支援1)御夫妻より共通の生まれ故郷であり、新婚時代を過ごした函館を訪問したいとの依頼を受け、ヘルパー付での旅行プランを作成し、2泊3日の旅を楽しんでいただきました。

函館駅に到着してすぐに「函館山」山頂へ。函館山は夜景が有名で東洋一と言われておりますが、全体を見渡すために昼間に登りましたが、台風が近づいている時でしたが、空はまだ晴れており、昼間でも夜と変わらないくらい絶景です。



続いて、鏡さんの生まれた土地で、敏雄さんも仕事の関係で数年いたことのある森町へ。鏡さんのお姉さんが住んでいるケアハウスを訪問。森町は、「いかめし」が有名です。JR森駅前、元祖「いかめし」製造店前で一休み。

函館に戻り、「湯の川温泉」のホテルに宿泊。翌日は湯の川町の新婚時代に住んでいた下宿を探しましたが、時既に60年を経過し、残念ながら殆どの家が新しく、住んでいた頃の面影がありません。しかし、この執念が身を結びます。新婚時代の下宿は風呂がなく、よく二人して銭湯(もちろん湯の川温泉の湯)に通いましたが、その銭湯が昔とあまり変わらない姿で営業していたのです。敏雄さんは、わざわざ番台まで出向き懐かしく中を見渡しておりました。



最終日は、よく散歩に行った五稜郭公園などをタワーから展望の後、自由市場で好物の海産物を仕入れ、家路につきました。



当初、希望されたところを全部回るのは身体的にきついかと思われましたが、レンタカーを利用し、無理のないスケジュールと行程で、殆どの場所を回ることができました。

旅日記では、ご利用者様のご希望をなるべく叶えるべく、旅行案を作成します。「こんな希望はできるわけがない。」と考えておられる方、一度、ご相談下さい。